

課題名：全医療職/全医療部門が参画する先進的医療製品・システム開発を担う人材育成拠点

代表機関／代表者：独立行政法人国立病院機構大阪医療センター／金村 米博

分担機関：なし

研究期間：令和7年7月～令和 8年3月



支援内容・体制

● 人材育成研修

- ・Bi-AMPS レクチャー・プログラム:複数回の講義で構成されるオンライン講義形式の教育プログラムの提供。
- ・Bi-AMPS メディカル・カンファレンス:座学講習（＝知識を得る）と医療現場見学会（＝現場を理解する）をハイブリッドした教育研修会。

● 個別製品技術評価会（ベーシック、アドバンスド、オプションル）

- ・全医療専門職を技術評価者として活用し、医療機器・ヘルスケア関連製品毎に、製品開発上の留意点、製品の市場性、事業化実現に必要な競争力強化の方向性等を助言・指導する評価会。

● 医療現場発ニーズ/シーズマッチング交流フォーラム

- ・さまざまな医療現場や医療専門職が有する医療機器・ヘルスケア関連製品の開発に資するニーズ/シーズの提案を行い、企業とのマッチングを実施。

成果・実績（予定）

- 企業人材が医療機器およびヘルスケア関連製品の使用市場である医療現場の現況を理解し、医療専門職と同じ視点で理解し、議論できる知識を習得し、企業人材と医療専門職の双方が、製品創出に至る一連の開発プロセスを実践する上で必要な専門的知識をリスキングするための教育プログラムを提供する。
- 臨床現場および医療専門職の視点から、製品開発計画を精緻化するための場を提供する。
- 医療現場や医療専門職が有する医療機器・ヘルスケア関連製品の開発に資するニーズ/シーズを効率的に発見するための場を提供する。

